

相武台周辺地域小・中学校の 学習環境のあり方検討協議会

ニュース

平成 31 年 4 月発行
相武台周辺地域小・中学校の
学習環境のあり方検討協議会

第 3 号

はじめに

相武台地区 3 小学校では、児童数が減少傾向にあります。児童数の推計では、これから 1 学年 1 学級のための学年が増え、過小規模校化が進むと予測されます。

こうしたことから、学習環境のあり方の検討を行うため、平成 30 年 8 月 10 日に「相武台周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会」を設置し、検討してきました。

平成 31 年 3 月 26 日に開催した第 4 回検討協議会では、相武台周辺地域の小・中学校の課題のうち、「学区に関する課題」をテーマに、グループワークで検討しました。

小学校と中学校の学区が一致していないことや、学区と自治会区域や公民館区域の整合が図られていない地域があること、通学距離や交通状況の観点から、学区についての話し合いを行いました。

学区・小中一貫教育（学区に関する課題）について

【小学校と中学校の学区】について

現状の良い点

- ・仲の良かった子と中学校で別れても、友達関係は続くし、新しい友達もできる。
- ・皆が同じ中学校に行く小学校は、中学校とあいさつ運動等の交流を持っている。
- ・小学校でつまづいた子が、中学校に行き、新しい環境の中でリセットできる。

現状での不安な点

- ・小中の学区が一致していないので、小中一貫教育のメリットが生かしきれない。
- ・少人数が、別の中学校に行くことになる。 ・新しい人間関係に不安を感じる。
- ・家から近い学校があるのに、わざわざ遠い学校に歩いていかなければならなくなる。

解決への手立て・良くなること

- ・小学校と中学校の学区が一致していた方が良い。
- ・遠くの学校に通学しなくてはいけない子や、学区の境に住んでいる子など、近い方の学校を選択できると良い。

【自治会区域と学区、公民館区域と学区】について

現状の良い点

- ・学区と自治会区域が同一の場合、ボランティアの見守り活動がしやすい。
- ・グリーンパークは下校時に放送を流してくれて、不審者の問題が減った。
- ・教員が、学区外のお祭りの見回りをしてきている。
- ・児童館、子どもセンターが充実している。

現状での不安な点

- ・自治会が分かれ、学区が一致していないと地域とともにある学校にならない。
- ・学区外に遊びに行かないようにという指導もあるので、公民館区と学区が一致した方が、安心して子どもを送り出せる。
- ・座間市の子どもが、児童館に来て仲良くなり、行動範囲が広がるのが心配。

解決への手立て・良くなること

- ・自治会と学区が同じになると、地域との連携がもっとできる。
- ・座間市の子の親と交流し、連絡先を交換する。

【通学距離、交通状況】について

現状の良い点

- ・学校が1番遠くても、徒歩15分で登下校できるのはありがたい。
- ・特に幹線道路を横断することがない。村富線を渡る陸橋がある。

現状での不安な点

- ・市道相武台47号は車が多く、狭いので心配。
- ・近い距離の所に学校があるのに、通えない。
- ・夏の暑い日や、通学距離が長いと（特に低学年の児童は）心配である。

解決への手立て・良くなること

- ・通学路の登校時の交通（速度）規制。
- ・学区が選択できるシステムがあれば良い。
- ・通学路の見直し。保護者の意見も取り入れた、通学路の選択。

今後の予定について

第5回以降の検討協議会では、これまでの検討協議会で積み上げてきた検討内容を踏まえ、教育委員会からの課題解決方策の案を提示し、相武台周辺地域の子供たちにとって、望ましい学習環境について、具体的に検討を進めていきます。

各委員には、それぞれの選出母体において、意見集約などをしていただきます。

第4回検討協議会で、もえぎ台小PTAの委員から提出があった、保護者意見の取りまとめについては、次回検討協議会で取り上げる予定です。

お知らせ

検討協議会ニュースは、相武台小学校、緑台小学校、もえぎ台小学校、相武台中学校の保護者の方に配付し、相武台地域の自治会に回覧しています。

これまでの検討協議会の結果概要と資料は、市の行政資料コーナー、相武台公民館、相武台小学校、緑台小学校、もえぎ台小学校、相武台中学校でご覧いただけます。

第5回検討協議会

令和元年5月末ごろ 午後7時～
相武台まちづくりセンター

事務局（お問合せ先）

相模原市教育委員会 教育局 教育環境部 学務課
電話 042-769-8282（直通）